



堀川の水辺で見られる鳥たち

種によっては成鳥と幼鳥、雌と雄で形や色が異なることがあります。ここでは種が識別しやすい写真を選んで掲載しました。*留鳥:年中見られる鳥、夏鳥・冬鳥:渡り鳥

カワセミ



留鳥
全長17cm

ユリカモメ



冬鳥
全長41cm

セグロカモメ



冬鳥
全長61cm

ウミネコ



冬鳥
全長45cm

イソヒヨドリ



留鳥
全長26cm

ハクセキレイ



留鳥
全長21cm

セグロセキレイ



留鳥
全長21cm

キセキレイ



留鳥
全長20cm

イソシギ



留鳥
全長20cm

ダイサギ



留鳥
全長80~104cm

アオサギ



留鳥
全長95cm

コサギ



留鳥
全長61cm

ゴイサギ



留鳥
全長58cm

ササゴイ



夏鳥
全長52cm

トビ



留鳥
全長59cm♂

ミサゴ



留鳥
全長58cm♂



堀川1000人調査隊
堀川水族館 かわら版

堀川の水辺で見られる鳥たち
種によっては成鳥と幼鳥、雌と雄で形や色が異なることがあります。ここでは種が識別しやすい写真を選んで掲載しました。*留鳥:年中見られる鳥、夏鳥・冬鳥:渡り鳥

とリスキ



カムリ
カイツブリ

カワウ



オオバン



カイツブリ



マガモ



カルガモ



ハシビロガモ



コガモ



オシドリ



ヨシガモ



オカヨシガモ



オナガガモ



ヒドリガモ



ホシハジロ



キンクロハジロ



スズガモ





堀川1000人調査隊 堀川水族館 かわら版 うおスキ



アユ

堀川で見られる魚たち



堀川では2024年7月19日にアユ(全長10cmくらい)の群れが黒川橋～志賀橋付近で確認されました。アユは「清流の女王」とも呼ばれています。稚アユは春になると海から川を遡上して、主に石に付着した藻類を餌にして成長します。秋になると成長したアユは下流域に降下して産卵します。卵から生まれた仔魚は海で稚魚まで成長します。アユは一年で一生涯を終える魚です。

ボラ

コノシロ



全長60cm



全長10cm

堀川ではボラの幼魚(全長3cmから5cmくらい)が海から大群で遡上してくる様子が毎年見られます。時には全長20cmを超えるボラの大群が遡上して、川面を埋め尽くすこともあります。

河口の汽水域に群れて生息し、主にプランクトンを食べています。納屋橋付近でも見ることがあります。

コイ

ニゴイ

フナ

オイカワ



全長60cm



全長50cm



全長25cm



全長15cm

流れが緩やかな場所にいます。水草、貝、虫や他の魚の卵や小魚など、口に入るものなら何でも食べてしまいます。

砂がある場所を好み、川底近くを泳いでいます。小魚、虫、藻などを食べます。コイよりも細長く見えます。

流れが緩やかな場所にいます。フナの仲間の多くは、水草、貝、虫などを食べます。

石のある場所が好きです。石に付いた藻や虫などを食べます。

カマツカ

ウナギ

ナマズ

カダヤシ(外来種)



全長20cm



全長100cm



全長60cm



全長5cm

(参考)メダカ

メダカは背中が黒褐色

砂がある場所を好み、川底にいます。虫や小動物などを砂ごと口から吸い込み、同時に砂だけを濾過(えらぶた)から吐き出しながら食べます。

明るい時は穴や泥の中などに潜んでいます。夜になるとエビや虫や小魚などを食べます。

明るい時は流れの緩やかな石や水辺の植物や藻の陰に潜んでいます。夜になると口のヒゲを利用して餌を探して、エビや虫や小魚などを食べます。

カダヤシは外来種です。虫やプランクトンなどを食べます。直接仔魚を生む卵胎生の種です。メダカと似ています。間違えないようにしましょう。



堀川1000人調査隊
堀川水族館 かわら版

かに・えびスキ



堀川で見られるエビ・カニたち

モクズガニ



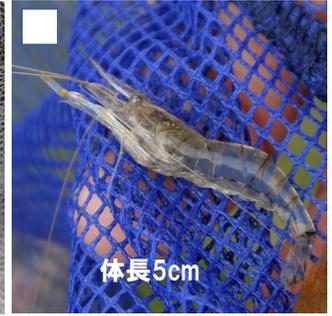
ベンケイガニ



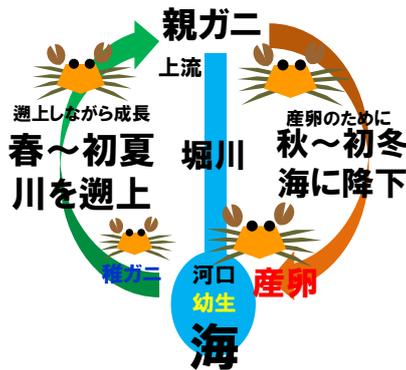
テナガエビ



スジエビ



モクズガニの一生(回遊)



ベンケイガニの生息場所



撮影:堀川1000人調査隊2010 定点観測隊

堀川1000人調査隊
堀川水族館 かわら版

かめスキ



堀川で見られるカメの仲間たち

イシガメ



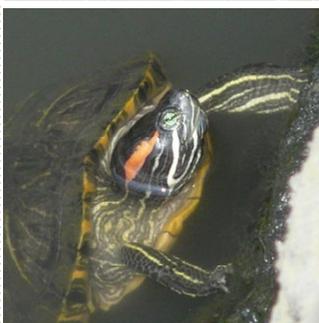
クサガメ



ミシシッピアカミミガメ (外来種)



スッポン



撮影:堀川1000人調査隊2010 定点観測隊